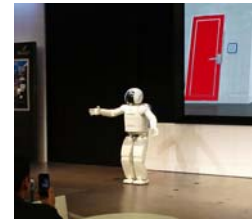


Honda ハローウッズシンポジウム参加報告

作成：井伊 秀博 平成 24 年 3 月 5 日(月)

1. 場所 東京・青山ホンダ本社ビル 2F
2. 開催日 平成 24 年 3 月 1 日（木）・2 日（金）14:00～18:00
3. 参加者 滝口、井伊



4. イベントの内容

このハローウッズは、ホンダが栃木県にある自社サーキットを含む森に開設した「ツインリンクもてぎ」が 2000 年に始めた里山体験学習フィールドで、640ha の広大な敷地を使った森の自然体験ミュージアム。今回は「森の元気と子供の元気」というテーマで、2 日間にわたり有識者による基調講演とパネルディスカッションが行われました。初日の陶山准教授による「遺伝子から見る森」の話では、あくまで限定された条件でのデータであるという前置きの後で 以下の話がありました。

①遺伝子に地域性があるという事実・・・ブナの調査結果で解説

その地域に由来する種は生育が良いが、現状は、産地に配慮せず混在して植栽されているので、同じ樹種でも全部適合するとは限らないということがある。

②遺伝的多様性が高いと生態的機能も高い・・・ヨシ原の調査で解説

③孤立した森も、遺伝子でみると多様性が高い・・・ブナの調査結果で解説

・群から離れ孤立した森林も価値を持つという可能性

また二日目の、野井准教授による「こどもの現状と取り組み」の話では、子供の元気を科学する取り組みが紹介され、30泊31日という挑戦的な子供向け体験学習長期キャンプに関わる中で子供の元気とメラトニンの関係を調査し、眠りを誘うメラトニンの分泌量と長期キャンプ中の食欲、体調、排便、悩み、不眠には相関があることを踏まえ以下の3つの仮説的提案が紹介されました。

①光・暗闇・外遊びのススメ・・・早寝・早起き・朝ごはんに代わるスローガン

少しだけ頑張れば出来そうなことを呼びかける

②わくわくドキドキのススメ・・・前頭葉機能の元気の為に、昼は夢中になれるような

取り組みを

③“良い加減”のススメ・・・子供だけでなく大人も 楽しみ、のんびり・輝きながら

生活することが大事

両基調講演とも大変面白い内容で、普段接する森に対する考え方や、子供たちへの接し方等について 大変示唆に富んだ話を聞くことが出来ました。

5. 所感

初日のパネルディスカッションの後、懇親会が行われ、いつも向井 F 1 の活動でお世話になっている社会活動推進室の方々（HPでは個人の名前は伏せます）とゆっくりお話することが出来たことと、ツインリンクもてぎの幹部の方とも名刺交換させて頂いたりで、大変有意義な時間を持つことが出来ました。終日 お世話を頂いた社会活動推進室の方々に、改めて感謝申し上げたいと思います。

これからも向井 F 1 の協働活動、“良い加減”で頑張りましょう。

以上